

## 外科用X線装置購入 要求仕様書

1 基本要件	
1.1	全般
1	契約時点において生産が終了していない現行商品で構成を行うこと。また装置本体に関し稼働後10年間に於いて保守対応が可能なこと。
2	医療法等に準拠し、設置申請に必要な書類等を提出すること。
3	医療法及び障害防止法等の申請に必要な書類作成の支援を行うこと。
4	日本語版操作マニュアルを提供すること。
1.2	搬入・設置
1	機器の搬入、設置、接続、設定及び調整に関しては、発注者の指示に従うとともに、必要に応じて協議し、十分に調整を行ったうえ受注者の負担により実施すること。
2	設置場所が本調達機器の設置環境基準に満たしているか調査を行い、不備や不足がある場合は発注者と打ち合わせを行い、環境基準に適合すること。備品や工事費用は本調達に含めること。
3	機器設置に必要となる設備（電源工事・ネットワーク工事等）がある場合は発注者と協議し、その指示に従い、費用は本調達に含むものとする。
4	本仕様書に示した各機器が適正に作動するために必要となるケーブルやコネクタ類（ソフトウェアを含む）等は仕様書に記載がなくとも受注者の負担で整備すること。また、各機器の動作確認及び装置全体の動作確認を受注者立ち合いの下、これを行うこと。
5	調達物品の搬入、設置動作確認等については、納入期限までに終了し、発注者による確認を受けること。
6	設置装置の取り扱いについては導入時に必要な研修及び教育の訓練を発注者と協議のうえ、指定する日時、場所で発注者の職員に対して行うこと。また、納入後1年は随時対応し医療安全上、新たに研修及び教育訓練が必要となった場合はその都度対応すること。
2 装置要件	
2.1	全般
1	1台の装置にて透視モードおよび静止画撮影モードの切替が可能であること。
2	本体重量は260kg以下であること。
3	本体にバッテリーを内蔵し、電源接続なしで透視が可能であること。
2.2	Cアーム部
1	Cアーム部の前後方向への動作範囲は20cm以上であること。
2	Cアーム部の首振り範囲（パン動作）は $\pm 10^\circ$ 以上であること。首振りがない場合は装置本体の移動で首振りと同等の動作ができること。
3	Cアーム部の縦方向への回転範囲（アンギュレーション）は、 $-90^\circ$ 以上 $+30^\circ$ 以上であること。
4	Cアーム部の横方向への回転範囲（ローテーション）は $\pm 200^\circ$ 以上であること。
5	Cアーム部の上下方向への動作範囲は42cm以上で電動機構を有すること。
6	Cアーム部の開口は83cm以上有すること。
2.3	X線管球
1	X線管球は固定陽極型であること。

## 外科用X線装置購入 要求仕様書

2	X線管球の焦点サイズは0.6mm以下であること。
3	最大管球熱容量は50kHU以上であること。
4	最大陽極冷却率は48kHU/min以上であること。
5	総ろ過2.5mmアルミ当量以上の付加フィルタを有すること。
6	面積線量を表示できること。
2.4	フラットパネルディテクター
1	フラットパネルディテクターを有し、ピクセルサイズは150μm以下であること。
2	フラットパネルディテクターは、手技目的に合わせてサイズ交換が可能であること。
3	フラットパネルディテクターは、手技目的に合わせて10×12インチ、14×17インチのサイズ交換が可能であること。
4	フラットパネルディテクターは20cm×20cm以上の視野サイズを有すること。
5	フラットパネルディテクターのマトリックスは1536×1536以上であること。
6	フラットパネルディテクターは取り外しが可能なカセット式であり、Cアーム本体と組み合わせて静止画撮影が可能であること。
2.3	本体、コンソール装置
1	本体コンソールに17インチ以上のタッチパネルモニタを有すること。
2	金属物・骨・軟組織を自動で検知しコントラストを自動で調整できること。
3	輝度/コントラスト、画像回転、拡大機能はタッチパネルで操作できること。
4	ストレージメモリは90,000画像収納可能なこと。
5	本体とは別に19インチ以上かつ1280×1024ピクセル以上での解像度を2面有するモニタカートを導入すること。
6	モニターカートとCアーム本体はケーブルレスの無線接続であること。
7	本体にUSBポートを有し、撮影画像をUSB媒体にDICOMフォーマットで記入できること。
3	システム連携
3.1	RIS・PACS連携(将来対応)
1	当院のHIS系無線および有線LANへの接続が可能であること。
2	将来対応として当院既設のRISシステムとMWM接続し、オーダ情報を取得する機能を持つこと。
3	将来対応として撮影画像を当院既設のPACSサーバーへDICOMフォーマットにて転送できる機能を持つこと。
3.2	Claio連携
1	透視画像のキャプチャを取得し、当院の各手術室に設置の汎用画像システム(Claio)画像取込用パソコンへの送信が可能であること。またClaioシステム側の接続に係るベンダ作業費用についても本調達に含むものとする。
4	支援体制
4.1	保守体制
1	長崎県内に保守サービス拠点があり、故障時において復旧の為現場で迅速な対応が可能であること。
2	納入検査確認後から1年間は通常の使用により故障又は障害が発生した場合は無償保証による修理対応を行うこと。